

## 令和6年度 白井市スポーツ推進委員会 委員委嘱状交付式及び第1回会議録（概要）

開催日時	令和7年1月8日（水） 午後1時30分～午後3時10分
開催場所	白井市役所 東庁舎1階 101会議室
出席者	涌井委員、中丸委員（オンラインでの参加）、上條委員、河野委員、中村委員、高柳委員 鈴木委員、菊池委員、小林委員、佐藤委員、井亀委員
欠席者	田内委員
事務局	生涯学習課：西口課長、岡田係長、白井主事、土屋主事補
傍聴者	無し
議題	1 スポーツ推進事業について 2 学校体育施設開放事業の鍵の受け渡しについて 3 学校部活動の地域展開について 4 その他、質疑応答

### 1、委嘱状交付式

（1）教育長より委嘱状交付

（2）教育長挨拶

本日は、白井市スポーツ推進委員会委員委嘱状交付式及び令和6年度第1回会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

白井市教育委員会としましては、各種スポーツ団体の支援、体育協会等と連携した各競技の市民大会の開催のほか、白井梨マラソン大会の開催や印旛郡市民スポーツ大会への選手の派遣、学校体育施設の開放事業などを行ってきているところです。

このスポーツ推進委員会は、白井市附属機関条例及び白井市教育委員会附属機関規則に定める委員会であり、また、スポーツ基本法に定められている審議会です。

本委員会は、スポーツの推進に関する諸計画の策定及び総合的な推進に関する事項について調査審議することなどが主な目的となっています。

本日の議題は、スポーツ推進事業の報告、学校体育施設開放事業及び学校部活動の地域展開についてご意見等を賜りたいと考えております。

委員の皆さんのそれぞれの立場で、ご意見を賜り、これからの白井市のスポーツ振興につなげていきたいと考えておりますので、活発なご意見をお願いいたします。

（3）委員自己紹介

（4）事務局紹介

### 2、第1回会議

（事務局）

●会議録の概要版を公表するため、録音させていただく。

●白井市スポーツ推進委員会は、白井市附属機関条例に位置付けられた会議。

目的は、以下のことについて調査審議すること。

- ・スポーツの推進に関する諸計画の策定及び総合的な推進に関する事項
- ・スポーツ施設(学校体育施設を含む。)及び設備の整備並びに利用に関する事項
- ・スポーツ指導者の養成及びその資質の向上に関する事項

・スポーツの普及、団体の育成

●会議の成立について

白井市附属機関条例第6条第2項で、会議は委員の過半数が出席しなければ開くことができないと定められている。本日は過半数以上が参加のため会議が成立する。

●「白井市審議会等の会議の公開に関する指針」の規定に基づき、会議は原則公開となっている。本日の会議は非公開とするような議題はないため公開で開催する。

●委員長・副委員長選出

選任については、白井市附属機関条例第3条第1項で「委員長及び副委員長は委員の互選により定める」となっている。

●立候補者無しのため事務局案として、涌井委員に委員長、中丸委員に副委員長をお願いする。

「白井市附属機関条例第6条第1項」の規定により、委員長が議長を務めることとなっている。

【議題1】スポーツ推進事業について

(1) 管理施設

●市民プール

平成3年度開設。施設は古くなってきているが、利用者も多く市内で一番の人気施設。

利用者数

令和3年度はコロナで営業中止、4年度は4万4千人、5年度は6万人、6年度は5万2千人。

施設概要

プール： 流水プール、スライダー、幼児プール

売店： 軽食、浮き輪等の物販

駐車場： 無料、350台（ピーク時は、満車になり木下街道まで渋滞することもある）

料金： 株式会社 協栄という民間の事業者が指定管理者として、条例額より安く設定し管理運営を行っている。

●白井運動公園

・開設年度：陸上競技場、テニスコート 平成9年度

競技広場（グラウンド） 平成22年度

・陸上競技場はブルートラックになっている。

・転倒するとユニフォームに青く色が付くことがあるという声がある。

・老朽化の影響は出ているが、利用者も多く人気の施設である。

・梨マラソン大会の会場でもあり、多くの人が集まるきっかけになる施設でもある。

料金

・令和7年4月1日から料金に変更になる。

・利用者と非利用者との公平性を保つ為に、定期的にコスト計算をしている。

・最終的には「利用者が100%支払う」ことで進めているが、一度に100%に変更すると大きな金額になる。

・「最大でも現在の金額の1.5倍まで」とし、9月の白井市議会の中で可決され、来年度

4月1日から新料金の運用となった。

#### ●都市公園

- ・テニスコートが設備されている。
- ・コートの種類が分かれており、利用者が選択している。

中木戸公園	全天候型砂入り人工芝	2面
南山公園	全天候型砂入り人工芝	3面
七次第一公園	クレーコート	3面
十余一公園	ハードコート	2面
野口多目的広場	ハードコート	2面

#### ●富士南園広場

- ・中学校の建設予定地としていたが、建設予定が無くなり、現在は多目的広場として暫定使用をしている。
- ・野球場（3面）、グラウンドゴルフ場、ゲートボール場として利用されている。

### (2) 団体育成・支援

#### スポーツ推進委員協議会

- ・スポーツ推進委員は市の非常勤職員で、毎月1回ほど会議を行っている。
- ・地域住民が気軽にスポーツに参加できるようにという思いで、地域の事を考えて各種事業に取り組んでいる。
- ・年始めには、しろい七福神めぐりウォーキングを行った。  
市内を約20数キロメートル歩き、七福神をめぐる。  
大変人気のあるイベントで、毎年多くの市民が参加している。

#### 出前スポーツ

- ・スポーツ推進委員が指導者として地域の団体に出向き、各種スポーツの普及、啓発に努めている。
- ・スポーツ推進委員協議会に対しては、報酬の支払いや補助金を交付することで、市として活動の支援をしている。

#### 白井市体育協会

- ・傘下に専門部として様々な種目の団体が属している。
- ・各種協会の方々が、市民大会や教室、講習会を実施している。
- ・各団体から印旛郡市民スポーツ大会への派遣等を行っている。
- ・梨マラソン大会への協力を行っている。
- ・体育協会に市から補助金を交付している。

#### ●白井市スポーツ少年団

- ・活動内容：団体（野球、サッカー、ミニバスケット、剣道）に属し、練習や大会を実施する。
- ・設置目的：青少年の健全育成

- ・白井市スポーツ少年団に市から補助金を交付している。

●総合型地域スポーツクラブ（市内に5団体）

支援内容

- ・設立当初は国から補助金を受けていたが、平成29年度をもって補助の期間が終了。
- ・現在は自主財源で運営している。
- ・地域の方々が自ら指導をしながら交流をし、様々な種目に触れてもらうという活動をしている。

(3) 事業

●白井梨マラソン大会

- ・参加申し込みはインターネットでの受付
- ・市内在住、在勤、在学者は先行して受付
- ・令和6年度申し込み数は2,447件（約25%が市内在住、在勤、在学者）
- ・遠方者賞 沖縄県那覇市
- ・最高齢者賞 男性91歳 女性83歳
- ・白井市から、梨マラソン大会実行委員会に対して補助金を交付して活動の支援を行っている。

●スポーツ・レクリエーション祭

- ・スポーツ推進委員協議会の主催事業
  - ・ニュースポーツを取り入れながら、市内の小学校の校庭、体育館を会場に、競技を行っている。
- 令和6年度（12月末日現在）の実績
- |          |     |
|----------|-----|
| グラウンドゴルフ | 50名 |
| モルック     | 0名  |
| ボッチャ     | 3名  |
| フロアカーリング | 2名  |
- ・人数が低迷しているので、スポーツ推進委員の方々と協力しながら参加者を増やしていきたい。

●印旛郡市民スポーツ大会

- ・印旛郡内の各市町対抗の大会を行っている。
- ・白井市では、白井運動公園でソフトテニスとサッカーを担当している。
- ・令和6年度、白井市は優勝4種目、準優勝4種目、総合順位が4位であった。
- ・市からは、選手の会場までの交通費の支給をしている。
- ・体育協会から、各専門部（種目ごとの協会、連盟）に強化費を支給している。

●印旛郡市駅伝競走大会

- ・令和6年12月1日（日）に、第94回 印旛郡市駅伝競走大会が開催された。
- ・佐倉市の岩名運動公園を主会場にしていたが、グラウンドの改修工事の予定が入っていたため、今回は近くの小学校が会場になった。
- ・令和元年度以降、白井市のチームは上位入賞を果たせていない。
- ・中学校男子の部に出場した桜台中の生徒が、3区の区間賞を獲得した。

●県民スポーツ大会

- ・ 印旛郡市民スポーツ大会から繋がる大会
- ・ 白井市からは42名参加
- ・ 印旛郡市というチームで出場し、テニス男子、陸上女子で優勝
- ・ 出場選手には、交通費、奨励金を支給し、支援を行っている。

●学校体育施設開放

- ・ 市内の小学校、中学校の体育館、武道場、弓道場を地域の方々に開放している。
- ・ 目的：スポーツの技術の向上や体力の保持のため。
- ・ 登録人数は若干減っているが、登録団体数は徐々に増えている。
- ・ 地域のグループで利用している方が増えていると考えられる。

●出前講座

- ・ スポーツ推進委員協議会の主催事業
- ・ 年々、利用団体が増えている。
- ・ 福祉団体、自治会の利用が多い。

●スポーツリーダーバンク

- ・ 令和6年12月末現在 登録指導者 13名
- ・ 直近8年での派遣実績は無い。
- ・ 他自治体の例を参考にしながら力を入れていかなければならないと考えている。

(4) 備品の貸し出し

- ・ よく利用される物品：グラウンドゴルフ、輪投げ、ボッチャ、ストラックアウト、モルック
- ・ 物品のPRが市のホームページのみ。
- ・ さらに多くの方にご利用いただくために、PR方法を考えていく必要がある。

質問

(〇〇委員)

白井市スポーツ少年団の団員、指導者の数が減ってきている原因を、分かる範囲で教えて欲しい。

(事務局)

NPO等の団体が増えている。

スポーツ少年団は、保護者やコーチ中心となって活動しているため、保護者の負担が大きくなってしまう。

NPO等の場合、保護者の介入が無い場合、金銭的な負担が発生しても、NPOやクラブチームに流れてしまっているというのが現状。

(〇〇委員)

高齢者クラブ連合会でカローリングという競技を毎年行っている。

県の協会から指導者が来て、採点方法、競技の方法の指導を受けている。

連合会で所有している機材は1セット。

2セットは協会から借りている。

貸し出し物品のフロアカーリングは、カローリングと同じ物なのか。

もし同じならば、借りたい。

(事務局)

フロアカーリングは、体育館等の屋内で使用できるような足の付いたストーンを使用するもの。

(〇〇委員)

似た物のようなので、今後借りるかもしれない。また相談させていただく。

(〇〇委員)

備品の貸し出しについて。

現在はホームページのみの周知とのことだが、広報しろい等、他の広め方を検討してみるのはいかがでしょうか。周知されれば、利用数も増加し、活発なスポーツ活動やスポーツ人口の増加にも繋がるのではないかと。

(事務局)

広報しろいが最も効果的であると考えている。

また、「各団体の代表宛てに、貸し出し可能物品の案内を出す。」という方法も有効であると考え、検討していく。

(〇〇委員)

学校体育施設開放に関して。

令和5年から令和6年にかけて登録団体数が152団体から174団体に増えている。どのような種目の団体が増えているのか。

(事務局)

主にバスケットボールが増えている。

## 【議題2】 学校体育施設開放事業の鍵の受け渡しについて

### 現状

- ・市内のセンターで、それぞれの地域にある小学校、中学校の鍵の受け渡しを行っている。
- ・白井第二小学校の鍵の受け渡しは公民センターで行っているが、開館時間の関係で対応できる時間が短い。

### 課題

- ・「鍵の返却時間を工夫して欲しい」と要望が出ている。
- ・鍵の返却時間は、利用翌日の8時30分から12時となっている。
- ・共働きの方も多く、8時30分以降にセンターに行くのが難しい状況。

### 要望

- ・7時頃から返却できるようにしてもらえないか。

## 対応

- ・センター職員の出勤時間を早めるのは難しい。
- ・生涯学習課として、体育館やセンターへ鍵の返却ボックスの設置を検討している。  
鍵の返却が施設利用後すぐや翌日の出勤前等に可能になれば、利用者が楽になるのではないかと。  
鍵付きのボックスになるので、設置のコストなども考えなければならない。
- ・他の自治体の状況も参考にしながら、白井市に合った方法を考えていきたい。
- ・検討した結果は、来年度のスポーツ推進委員会の会議で報告をし、会議の中で意見を伺いたい。

### (〇〇委員)

- ・返却ボックスの設置に関して、利用者のメリットはとても大きいと思う。
- ・体育館の出入り口への取り付けは可能だと思うが、管理面が気になる。
- ・鍵がしっかり収められているか、鍵の回収を行う、といった対応ができるのか。

### (事務局)

- ・事業者からは、体育館等の鍵を電子錠にしてはどうかというPRもある。  
利用団体に暗証番号を伝え、開錠できるようにするというもの。  
鍵の交換に大掛かりな工事が必要になり、コストを考えると現実的ではない。
- ・現在、白井市ではセンターでの鍵の受け渡しを行っているので、今後もセンターを拠点とした方法が合っているのではないかと考えている。

### (〇〇委員)

- ・校庭の利用時間は9時から17時までとなっている。
- ・猛暑日の多い7月、8月は、7時半から開放して、最も気温の上がる14時から15時は閉めるという形にもっていききたい。
- ・利用時間を前倒しする場合は、外での声出しは控えるよう指導する。
- ・社会福祉協議会の広報の12月号に、今年の熱中症アラートが39回あった。  
2～3日に1回はアラートが出ている状況。
- ・少年野球やサッカー等から要望があれば、7月、8月だけでもいいので、利用時間の前倒しを検討して欲しい。

### (事務局)

- ・現在の利用時間の根拠について。  
学校体育施設開放に関する規則で、運動場の開放時間は9時から17時と定められている。
- ・テレビの報道でも、2024年は観測史上最高の気温が記録されたとあった。  
地球温暖化の影響は明らかで、利用者の健康面を考えて開放時間前倒しの必要性は感じている。
- ・生涯学習課として案を作成し、校長の会議、教頭の会議で協議し、今後について考えていきたい。

### 【議題3】 学校部活動の地域展開について

(事務局)

- ・株式会社オークスベストフィットネス（以下、「オークス」という。）という業者に委託し、運営、実施をしている。  
今年度の9月に契約を締結し、11月から実施をしている。
- ・スポーツ庁から、「部活動の存続のために、学校単位から地域単位に移していこう」と提言があった。
- ・令和5年度から7年度を改革推進期間としている。
- ・休日の運動部活動、文化部活動を対象としている。
- ・平日の運動部活動、文化部活動は、できるところから取り組む。

#### なぜ地域移行するのか

- ・少子化： 国、県、市、全てが当てはまる。
- ・指導の質の低下： 経験の無い教員が指導するケースがある。
- ・授業の内容の低下： 部活動に時間が取られることで、授業の準備等に時間が使えない。  
教員の過重労働にも繋がる。

「教員の働き方改革」という事でピックアップされ報道されるが、白井市では「子供達が継続した活動ができるように」という部分を考え実施していきたい。

#### 部活動と地域クラブの違い

部活動： 平日はこれまで通り学校の責任管理下で顧問が指導をする。

地域クラブ： 休日は学校の管理下を離れ、オークス（地域クラブ運営会社）の責任管理下で、地域の指導員が指導する。

- ・白井市では今年度、以下の種目で実施している
- ・剣道、ソフトボール、卓球、陸上、柔道、硬式テニス
- ・令和6年度9月から令和7年度8月末までは、生徒の会費は無料。
- ・6種目のうち、5名程度の教員の方が希望して、兼業で指導員として参加している。  
他の教員の方は、平日の朝と放課後に部活動を指導している。

#### 持続可能な体制構築の提案

- ・オークス（地域クラブ運営会社）と相談をして計画を作成した。
- ・令和7年8月までは年会費、月謝は無料 市内6クラブ
- ・令和7年9月から令和8年8月 受益者負担開始 市内の学校部活動全て（20クラブ程度）、  
休日は学校から切り離し地域クラブとして活動していく
- ・オークスとは3年契約をしている。契約の3年目である令和8年の8月から約半年は最終段階なので、様々な課題を解決していく予定である。
- ・令和9年度以降は、土日から平日に移していければと考えているが、具体的には決まってい

ない。

#### 活動内容

- 1、契約期間：令和9年3月末まで  
指導員は1年ごとの更新  
活動曜日：土、日、祝  
活動時間：国、県、白井市の部活動ガイドラインに則り、原則3時間程度  
活動回数：月4回程度
- 2、報酬  
時給1,600円とし、1回4,800円が支払われている  
大会参加時は時間も長くなるため、支給額も増える
- 3、指導員保険  
指導員全員が加入  
生徒も登録した時点で、保険に加入する

大会への参加等、多くの課題が出てきているが、学校、オックス、県、関係各所と話し合いながら進めていきたいと考えている。

#### (〇〇委員)

- ・基本的に、地域移行については賛成。
- ・費用はどうするのか。会費をいただく場合は保護者の理解が必要だと思う。
- ・難しい場合は支援をどうするのか。
- ・活動中の怪我や事故の責任は、どこが持つのか。

#### (事務局)

- ・費用面に関して。  
令和7年の9月からは、参加者から会費をいただく予定。  
金額は現時点では確定していない。  
指導員への謝金を払うために、適切な金額を設定したいと考えている。  
オックスから全国の例や提案を受け、補助も含め具体的な案が出ている。  
決まり次第、報告させていただく。
- ・保護者への説明も、丁寧に進めていく。
- ・指導員、参加者全員がスポーツ安全保険に加入する。  
活動中だけでなく、家から活動場所への移動中の事故にも保険が適応される。
- ・今のところ大きな事故は無い。何か起こった場合は、指導員がその場で一次対応をした後にオックスに連絡をして適切な対応をする。というマニュアルになっている。

#### (〇〇委員)

- ・令和7年度9月～の部分に「協議会を立ち上げ、運営団体の検討開始」とあるが、協議会を

立ち上げはどのようなメンバーをイメージしているのか。

(事務局)

- ・協議会は「地域クラブ活動をより良くしよう」という意図で開催するもの。
- ・メンバーとして想定しているのは、学校関係者、スポーツ少年団、体育協会など。

(〇〇委員)

- ・オックスと契約し、11月にトライアルを行い、12月に3回ほど実践的な練習活動をした。主に短距離等、トラック競技、フィールド関係を担当している。もう一人、大山口中学校の先生に長距離を担当していただいている。現在は2名体制。今後はもう1名、社会人の方をお願いし、3名体制になると思われる。
- ・現在の会場は、白井中学校が軸になっている。登録生徒は64名。会場に来る際は自転車や保護者の送迎であることが多いが、今のところ移動中の事故は起きていない。陸上競技には様々な種目があるが、生徒たちには安全対策についてきちんと説明をし、大きな事故もなくやってきた。
- ・会場を公園に変更したこともあった。千葉県のスポーツセンターの競技場で行われた中体連の練習会にも参加し、より専門的な指導を受け白井の生徒がより良く伸びていくようにと考えている。
- ・一番の願いは、白井市の子供達の心身の発育、発達である。また、競技を愛する子供たちの願いを叶えるべく、専門性を高めるというのも狙いである。競技面では、大きな目標や夢を持って取り組むということの大切さも指導している。
- ・今回はシーズンオフの11月からだったので、取り組みはうまくいった。年も明け、人数も増えていくが、大会への登録はどうするのかという課題に直面している。
- ・市内の生徒を集めて登録をしなければならないが、顔と名前、種目の一致等、限られた時間では難しい。
- ・運営について問題は無いが、課題の整理が必要だと感じている。

(〇〇委員)

- ・生徒の体力の向上、専門的な指導を受けられるというのが大きなメリットだと思う。
- ・それに加え、現場からの声としては、教員の働き方改革という意味もある。
- ・教員は土日の大会の引率等もあるため、部活動の地域展開は非常に良いものを感じる。

#### 【議題4】 その他

(事務局)

その他の議題は設けていないが、一回目の会議ということで、これからの白井市におけるスポーツの推進に関する提案や、意見があればお聞かせいただきたい。

(〇〇委員)

- ・白井運動公園は設置されてから30年以上で、老朽化が進んでいる。予算の関係もあり難しいと思うが、今後の事を検討して欲しい。
- ・体育館について、白井市はどのように考えているか。
- ・市としては、白井市以外は大きい体育館がある。
- ・白井市にも大きい体育館があれば、さらなるスポーツ活動の発展に繋がるのではないか。

(事務局)

- ・陸上競技場で転倒するとユニフォームに色が付いてしまうというのも、ブルートラックの老朽化によるもの。
- ・写真判定機が壊れている状態だが、来年度中にはなんとかしようとしている。
- ・総合体育館について、費用面が課題である。

(〇〇委員)

- ・大学生がサークル活動で体育館を使用しているという自治体もある。  
ぜひ前向きに検討して欲しい。

(〇〇委員)

- ・部活の地域展開について  
生徒たちが、やりたい事を自由にできるようになるといいな。と思いながら聞いていた。  
学校でやる、地域に委ねてやる、それぞれのメリットとデメリットがあると思う。  
全てを整えるというのは難しいので、動きながらやるしかないと思う。  
「先生方が頑張っているから成り立っている」というのが前提である状況にならないように。  
現在、陸上の分野で先導していただいている。良い形で進んでいくことを応援している。
- ・大会参加に関して  
中学校の中体連の競技会とクラブの出場となると整理が難しそう。  
動きながら課題について考えていかなければならないと思う。
- ・ぜひ、前向きに進んで欲しい。応援している。

(〇〇委員)

- ・総合体育館の建設地として、富士南園広場を候補に挙げるのはどうか。

(事務局)

- ・皆様からいただきましたご提案やご意見については、今後のスポーツ推進事業に反映させていただいたり、参考にさせていただく。